

市長記者会見記録

日時：2022年8月2日（火）14時01分～14時20分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：市政一般

<内容>

《市政一般》

【司会】 ただいまより定例市長記者会見を始めます。本日の議題は市政一般となっております。それでは、早速質疑に入らせていただきますが、進行につきましては、幹事社様、よろしくお願いたします。

《新型コロナウイルス感染症について》

【神奈川（幹事社）】 神奈川新聞社です。よろしくお願いたします。

【市長】 よろしくお願いたします。

【神奈川（幹事社）】 少し日がたちましたけれども、まず、御公務復帰おめでとうございます。

【市長】 ありがとうございます。

【神奈川（幹事社）】 その関連で幾つかお伺いしたいんですけれども、御家族が感染されて、御自身が濃厚接触者になられて、当事者になって初めて、不便ですとか不安ですとか気づきなどありましたら教えてください。あるいは、改めて感じたことでも構いませんので、お願いたします。

【市長】 陽性者の数というのが、私の家族が私を入れて5人家族なんですけれども、検査を受けたのは私と家族の中の1人なんですけれども、あとは基本的に症状が出たので検査を受けなかったという形で、もうみなし陽性ですよ。そういう意味からすると、実際、発生届が出ていない陽性の方はいらっしゃるんじゃないか、うちと同じようなケースは結構あるんじゃないかなと思いますし、本当に幸い、親戚というか、兄弟が近くに住んでいるので、買物だとかは賄えたのであれだったですけれども、やはり一人暮らしだとか高齢者だとか、生活上のいろいろな不便もあるなと感じましたし、実際検査、もう逼迫状態というのも承知していましたので、そういう状況、極めて深刻な状況にあるということ、家族のこともそうですけれども、感じたところです。

【神奈川（幹事社）】 濃厚接触者に関して自宅待機期間が短縮されましたけれども、一方で、自宅待機が解除された後も発症する可能性があるということで課題も指摘さ

れています。御自身の経験を踏まえて、今回の待機期間の短縮に関してどういう評価をされるのか教えてください。

【市長】 専門家からの話だと、3日で大丈夫かという懸念の声があるのは承知していますし、ただ、今、社会機能の維持とどう両立させていくのかを考えなくちゃいけない段階だと思っているので、そういった意味では、これは常にバランスの問題だと思います。リスクと社会的な影響のバランスを考えての判断だとは思いますが、私は社会機能を維持していく意味でも、これは適切なのではないかと考えております。

【神奈川（幹事社）】 自宅待機が解除された後も、やはり発症のリスクがあるということで、当事者にしてみれば、気をつけて行動しなきゃいけないところもあると思います。その点、どう考えていらっしゃるのか教えてください。

【市長】 ちょうど私が濃厚接触者になっているときに、その判断が変わったというタイミングだったんですね。なんですけど、一応5日間という形で私は対応、自らはいたしました。それは週末だったことも幸いしたんですけども、なるべく私から、万が一でも発症して感染するというリスクを控えたいという思いがあったからです。それぞれのお立場によって、どうしても外出しなければならないんだとかとすれば、徹底した感染対策を、広げないための行動をより注意していただくことが大事になるかと思いました。

《安倍元首相の葬儀に伴う半旗掲揚について》

【神奈川（幹事社）】 ありがとうございます。

話は変わるんですけども、安倍元首相の半旗掲揚の関係なんですけれども、今回、市教委で市立学校に葬儀に合わせて半旗を掲揚するよう依頼したということで、今回の市教委の対応は、教育基本法に照らして、その兼ね合いもありますけれども、どういう見解でいらっしゃいますか。

【市長】 まず、半旗を掲げることが政治的中立を侵しているかと言われると、そうではないと私は考えています。なので、そこについては問題はなかったと思いますが、一方で、市役所全体もそうなんですけれども、どういう基準でもって半旗を掲げるのかという基準がない中で、たしか月曜日金曜日の判断だったと思いますが、事務方から聞いて、どうしようかという話で判断したと。半旗を掲げようと私が判断したわけなんですけれども、そのことが学校を含めて影響があるということが、基準がない中で判断したことはなかなか課題だと思っています。そういった意味で、こういったときに半旗を掲げるのかということのルールづくりは必要だと思っていて、そういった意味

ではルールづくりの検討を始めたいと思っています。

【神奈川（幹事社）】 問題はないという御認識ですけれども、半旗掲揚に関して、政治家の功績をたたえるような印象も受ける行為になりますけれども、そうすると、子供たちにしてみれば、やはり中立性が担保されているのかどうか疑問が残る行為だったかとも思うんですけれども、その点、もう少し説明していただけますか。

【市長】 たたえている行為ではないと思います。ある意味、弔意を示しているということですが、それについて政治的中立性を侵すのかって言ったら、そうではないと思っているということだけです。ただ、繰り返しになりますけれども、それについてのルールづくり、学校という以前に、市の弔意の示し方に対するルールがないことについては課題だと思っていますし、ルールのない中で、あの段階で私が判断したことが適切だったですかと言うと、それはちょっと適切ではなかったのかもしれないと思います。ルールがない中で、ある意味、私が最終的な判断をしてしまったということですので、それは何の根拠に基づいてと言われると、なかなか説明しづらい部分もあります。

ただ、今回の安倍元総理の亡くなられ方が非常にショッキングな、病死とかいうものではなくて凶弾に倒れるということでありましたので、そういった意味での弔意を示すという判断をしたわけですが、これからはルールづくりをして、市民の皆さんにしっかりと透明性を持ってやるべきだと思っています。

【神奈川（幹事社）】 ルールづくりなんですけれども、現段階で学校現場で同じような状況になった場合に、半旗を掲揚するという選択肢も含めて考えていらっしゃるんですか。

【市長】 いや、それはゼロベースで考えるべきだと思うので。

【神奈川（幹事社）】 現時点ではどうお考えですか、盛り込むのか盛り込まないのか、半旗を掲揚するのかわからないのか、どちらが適切だとお考えでしょうか。

【市長】 うーん、いろんな人たちの意見を聞いてみたいと思います。国葬の話もそうなんですけれども、どういうときにどういう対応をするのかというのは、ある意味、市長の恣意的な判断ではなく、一定のルールに基づいてやられるべきものだと思いますので。

【神奈川（幹事社）】 分かりました。ありがとうございます。

《新型コロナウイルス感染症について》

【t v k（幹事社）】 同じく幹事社のt v kです。まず本日、県でB A. 5の対策強化宣言が、この後の対策本部会議で出ようかというところだと思うんですけれども、

現時点で市として独自の取組など考えていらっしゃるかというところをお聞かせ願えませんか。

【市長】 それは行動制限という意味でしょうか。

【t v k（幹事社）】 そうですね。県は行動制限を設けないというようなところなんですけれども、そういったところで、市内の飲食店への支援だったり、独自に動くような考えがありましたら教えてください。

【市長】 特に独自の行動制限のようなものは考えておりません。

《東扇島東公園の大型バス放置について》

【t v k（幹事社）】 もう一つ、先日、東扇島東公園の放置バスの行政代執行が行われたかと思うんですけれども、その後、未公開の市有地で管理されているかと思うんですけれども、その後、所有者との交渉の進捗状況など変化がありましたら教えてくださいいただけますでしょうか。

【市長】 現時点で何か変化があるということは聞いておりませんが、支払っていただくようにしっかりと対応していくことは聞いておりますので、何か状況変化がございましたら、また報告させていただきたいと思います。

【t v k（幹事社）】 分かりました。ありがとうございます。

各社さん、お願いいたします。

《安倍元首相の葬儀に伴う半旗掲揚について》

【東京】 東京新聞です。先ほどもありました半旗の掲揚の件なんですけれども、市長としては、市の管理する、例えば市庁舎だけではなくて学校も含めたところでの半旗の掲揚も踏まえて判断されたということによろしいのでしょうか。

【市長】 そこまで考えておりませんでした。市役所という形で半旗を掲げようという話と理解をしておりましたけれども、基本的には、ルール上というか、市の施設になると学校も含まれるということでしたので、それは後から知った話でありますけれども。

【東京】 やはり教育基本法のところで、やや慎重になるべきだったんじゃないかという指摘もあるのではないかとは思いますが、法に照らしても政治的中立性には関わらないという判断……。

【市長】 私は、今回の半旗を掲げたこと自体が政治的中立を脅かすものではないとは思っています。先ほど御指摘ありましたように、たたえるものでもありませんし、弔意を示すということは中立性に反しないのではないかと考えております。

【東京】 この後、秋に国葬が予定されていますけれども、国葬のときの対応で現時

点で考えられていることはあるのでしょうか。

【市長】 前回、国葬ではありませんけれども、中曽根総理のときは、国からの依頼があって、そのときは学校に対する言及もあったということで、学校はそれはしなくてよいという話だったと聞いています。国葬でありますので、今後、そういう対応は国から通知がなされるものだとは思いますが、それはしっかり見守っていきたいと思っています。

【東京】 国の通知に従って対応……。

【市長】 はい。

【東京】 今回の報道以降で、市に対して激励なり抗議なりはどれぐらい届いているかというのはいかがでしょうか。

【市長】 まだ私のところでは承知しておりません。

【東京】 分かりました。ありがとうございます。

【朝日】 朝日新聞です。半旗掲揚の話なんですけれども、ルールづくりをされるということで、そのルールでも、市の一般施設と市立学校を分けなくて、同じルールで適用する、位置づけにするという感じですか。

【市長】 そのことも含めて、これ、ルールづくりが必要だねと私言ったばかりですので、どういう形でやるのかも含めてこれから検討したいと思っています。

【朝日】 今回は、他都市の状況を見て事務方が提案したという流れなんですか。

【市長】 そうです。他都市の状況を僕に教えてもらって、半旗の話と記帳台の対応について、2つのことについて報告がありました。半旗についてはやろうと、記帳台については行わないという判断をそのときいたしました。

【朝日】 ちなみに、県内で半旗を掲揚したほかの自治体って御存じでしょうか。

【市長】 いえ、少なくとも神奈川県は半旗を掲げたという情報は、そのとき私、聞いたと思います。

【朝日】 担当者の情報というのは……。

【市長】 横浜市のこと聞いたような気もしますが、そうですね。横浜市のこと聞いておりました。

【朝日】 横浜市も半旗を掲揚した……。

【市長】 はい。ということで合っていましたか。そうですね、合っています。

【朝日】 横浜市の子立学校も掲揚したということですね。

【市長】 そのことを月曜日金曜日の時点で私が聞いたということです。

【総務企画局秘書部秘書課長】 横浜市役所には聞いておりますけれども、中学校と

か学校の件は確認しておりません。

《旧統一教会との関係について》

【朝日】 どうもありがとうございます。質問が変わるんですけども、統一教会の関係で、統一教会と市長の関係について改めてお聞きしたいんですけども、関係性についてはいかがでしょうか。

【市長】 前回の定例会見のときに、ちょっと調べてみますという話をして、調べてもらいました。メッセージだとか、何かの会合に出席したことはございません。会合に出席依頼があったけれども、それは欠席しているという記録が残っています。

【朝日】 特に関係性はほとんどないという受け止めで……。

【市長】 はい、ございません。

【朝日】 そうですか。ありがとうございます。

【東京】 今、お話にあった出席依頼があったというのは、市長になられてなのか、その前のことなのか……。

【市長】 そうです。

【東京】 市長に就任されてから。

【市長】 はい。

【東京】 大体何年ぐらい前とか……。

【市長】 何年前でしたっけ。

【総務企画局秘書部秘書課長】 平成27年です。

《名誉大英帝国勲章の受章について》

【朝日】 朝日新聞です。話変わって、名誉大英帝国勲章の受賞おめでとうございます。外国からの勲章授与というのはこれまでありましたでしょうか。

【市長】 私がですか。

【朝日】 ええ。

【市長】 ございません。

【朝日】 そうですか。分かりました。受賞されましたら、勲章はどちらかに展示されるのでしょうか。

【市長】 何ともまだ何も決めておりませんが、少なくとも便宜上、私となっておりますけれども、これはオリンピック・パラリンピックに対する貢献への御評価でありますから、そういった意味では、オリ・パラの事前キャンプに関わっていただいた方々が全体で頂いたものだとは私は受け止めておりますので、何らかの形で、その方々と喜びを分かち合うじゃないですけども、皆さんで受賞したということだと思

いますということは、何らかの形でやりたいとは思っていますけれども、まだ何も決まっておられません。

【朝日】 ありがとうございます。

《旧統一教会との関係について》

【共同】 共同通信です。先ほどの統一教会の件で、事務方に聞いたほうがいいのかもしれないんですけども、平成27年に依頼が出されたイベントというのは、差し支えなければ、こういった類いのイベントだったか教えていただけますか。

【市長】 お願いできますか。

【総務企画局秘書部秘書課長】 秘書課です。今、ちょっと手元にあれなんですけれども、世界日報定期講演会というようなものが、川崎市長宛てということで直接、よく封書等々が届くんですけども、そういった類いの中の一つということで、欠席という判断をしております。

以上でございます。

【共同】 ありがとうございます。

【司会】 そのほか、何かございますか。

それでは、以上をもちまして市長記者会見を終了させていただきます。ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)0312